



イージスジュニア ネクスト Aegis Junior Next

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しく取り付けてご使用ください。



R129/03

Universal belted
3点式シートベルト



「取り付け方」等は
動画でもご紹介しています。



本装置は、身長76~150cmまでのお子様用です。

※本書に使用しているイラストは、取り付け方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

目次

●ご使用になる前に	2
本装置について	2
ご利用にあたって	2
安全にご使用いただくために	3
ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方	7
取り付けできる3点式シートベルト	9
取り付けできない座席	10
●各部の名称	11
●組み立て方	13
●各部の使い方	14
バックル・タンク	14
肩ベルト	15
インナークッション	15
ヘッドサポート	16
●チャイルドシートモードとしての使い方	17
取り付け方	17
お子様の乗せ方・降ろし方	20
●ジュニアシートモードとしての使い方	22
ご使用になる前に	22
お子様の乗せ方	23
●お手入れのしかた	25
取り外し方	25
取り付け方	26
カバー・パッド・クッション/本体・ベルト・バックル等	27
●困ったときは	28
●保証規定/保証書	30

【梱包内容】

ご使用の前に、各部品がそろっていることをご確認ください。



本書



本装置

〈サイズ〉W445×D460×H585~805mm
〈重量〉5kg

ご使用になる前に 本装置について

本装置は、安全基準(UN ECE R129/03)^{*}に適合しており、身長が76～150cmまでのお子様を対象とした、R129(I-Size)改良型年少者用補助乗車装置です。

^{*}安全基準(UN ECE R129)は、従来の安全基準「UN ECE R44/04」適合のチャイルドシートと比べ、より安全性を高めるために推進された新しい安全基準です。

●新基準UN ECE R129の詳細については、弊社HP(QRコード)をご覧ください。



- 本装置は、3点式シートベルトが装備されている座席にご使用できます。2点式シートベルトの座席にはご使用できません。必ず「車種別適合表」・車両の「取扱説明書」をご確認ください。
- エアバッグが装備されている座席には取り付けできません。(サイドエアバッグを除く)
- ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用いただけません。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

ご利用にあたって

- 本書を読んでいただくためのポイントマークについて…
下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用いただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

X 図に表示している行為の禁止を示しています。

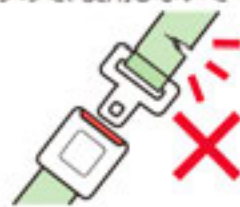
ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。
※安全上、前座席にはご使用いただけません。

- 本装置は「取扱説明書」通りに取り付けてください。
- 車両座席の種類・形状により、「取扱説明書」通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- お子様を本装置に乗せて使用する際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で装着し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろしや、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください(インナークッションを除く)。
- 衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので使用しないでください。
- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝突時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- バックルボタンの強さは安全規格で決まっていますが、お子様の力でもタングが外れる場合があります。バックルにタングが確実にロックされているか確認をしていただき、お子様にバックルボタンを押さないよう指導してください。



ご使用になる前に 安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

警告

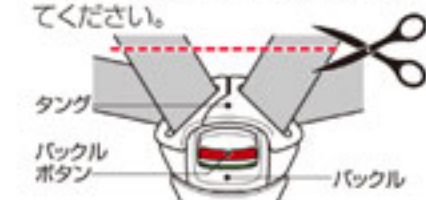
- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したり、動かさないでください。
- サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの場合は、使用できます。
- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などが原因で機能を損ねる場合があります。



- 車両の座席シートの材質・形状によって、キズや跡が付く場合があります。本装置と座席シートの間に、保護マット等を敷いてご使用ください。
- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例:片側スライドドアのドア側座席など)



- お子様を乗せたまま、車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。



- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

注意

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がった、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置に重いものを載せないでください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなっていないかを確認してください。
- 本装置を取り付ける際に、手や指を車両の座席やドアに挟まないように注意してください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだままの状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をこぼさないでください。また、ゴミや食べかす等が入らないように注意してください。万一入った場合は、お客様相談窓口へご相談ください。



- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。

- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください(本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く)。衝突した際、本装置の性能が十分発揮されない場合があります。

⚠ 注意

- 本装置をホコリが溜まりやすい場所で放置しないでください。可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。
- 極端な厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトが緩むおそれがあります。お子様の寒さ対策は、肩・腰ベルトを装着した上からおこなってください。



- 肩ベルト調節ストラップを上を引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損することがありますので、必ず手前へ引いてください。



- 本体カバーやパッド・クッション類のお手入れに、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



ご使用になる前に

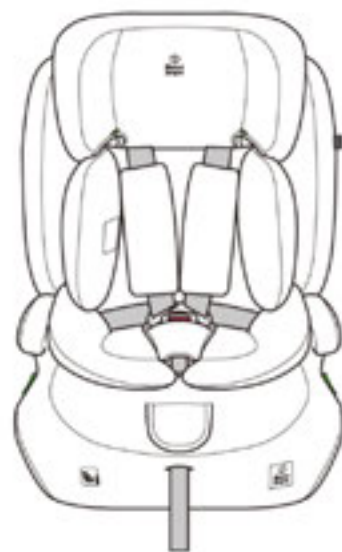
ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

体重は目安です。お子様の身長に合わせてご使用ください。

チャイルドシートモード

月齢15ヵ月以上かつ身長76～105cm

- 年齢の目安… 15ヵ月～4歳頃
- 体重の目安… 約9～18kg



車両の**3点式シートベルト**で取り付け、
本装置の**肩・腰ベルト、バックル**でお子様を拘束します。



上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。
また、助手席には決して取り付けないでください。

ジュニアシートモード

身長100～150cm

- 年齢の目安… 3歳頃～11歳頃
- 体重の目安… 約15～36kg



インナークッションとバックルパッドを取り外し、バックル、ベルト等を収納して使用します。

車両の**3点式シートベルト**でお子様を拘束します。






上記の条件を満たさないお子様には、絶対に使用しないでください。
また、助手席には決して取り付けないでください。

ご使用になる前に 取り付けできる3点式シートベルト

必ず3点式シートベルトをご使用ください。
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で身体を支えるシートベルト)



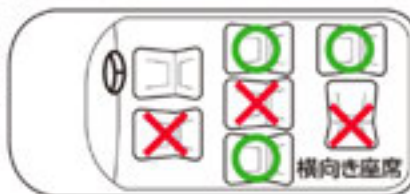
3点式シートベルトの種類

 ELR緊急ロック式 〈巻き取り機能付〉	ゆっくり引き出すと自由に伸び縮みし、勢いよく引くとロックするシートベルト。
 ALR/ELR 〈チャイルドシート固定機能付〉	すべて引き出した後で自動的に巻き戻り、それ以上伸びなくなり、すべて巻き取るとロックが解除されるシートベルト。
 その他	上記にあてはまらないシートベルトは、ご使用いただけません。

※ご使用になる前に、車両の「取扱説明書」をご確認ください。

取り付け可能箇所

- 助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。
- 進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



※必ず弊社「車種別適合表」をご確認ください。  取り付け可能  取り付け不可

取り付けできない座席

●シートベルトが装備されていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

※腰ベルトの左右2点で身体を支えるシートベルト。



●シートベルトの全長が230cm以下の座席。

●座面の奥行が40cm以下の座席。

●座面の幅が36cm以下の座席。

●エアバッグが装備されている座席。

※サイドエアバッグのみの場合は、ご使用いただけます。

●肩ベルトの出口が座席より前にある座席。(背もたれを起こしたり、座席を前にスライドさせることで使用できる場合があります。)



●腰ベルトまたは肩ベルトがドアに取り付けられている座席。



●車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも10cm以上前に出ている座席。



●極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。

●自動式ショルダーベルト(パッシブシートベルト)*が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。

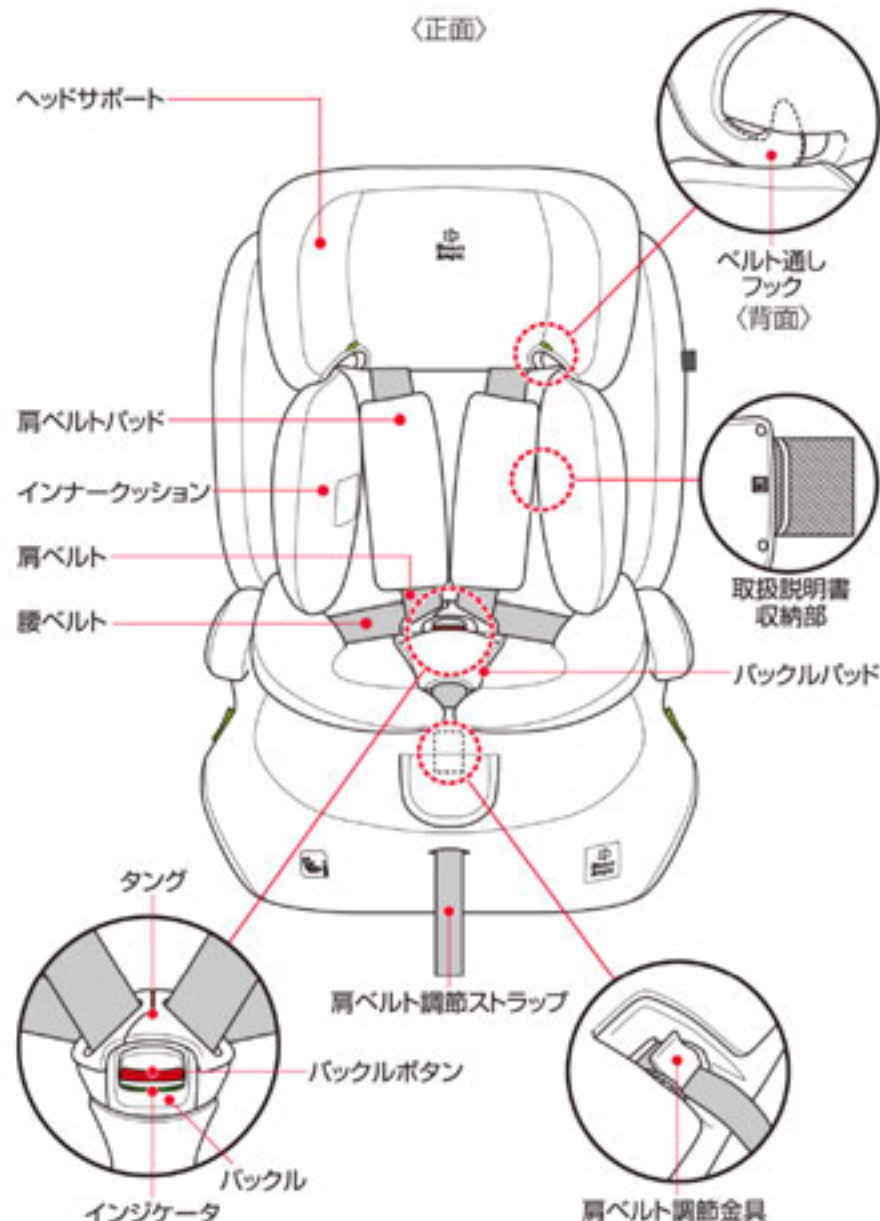


●本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。

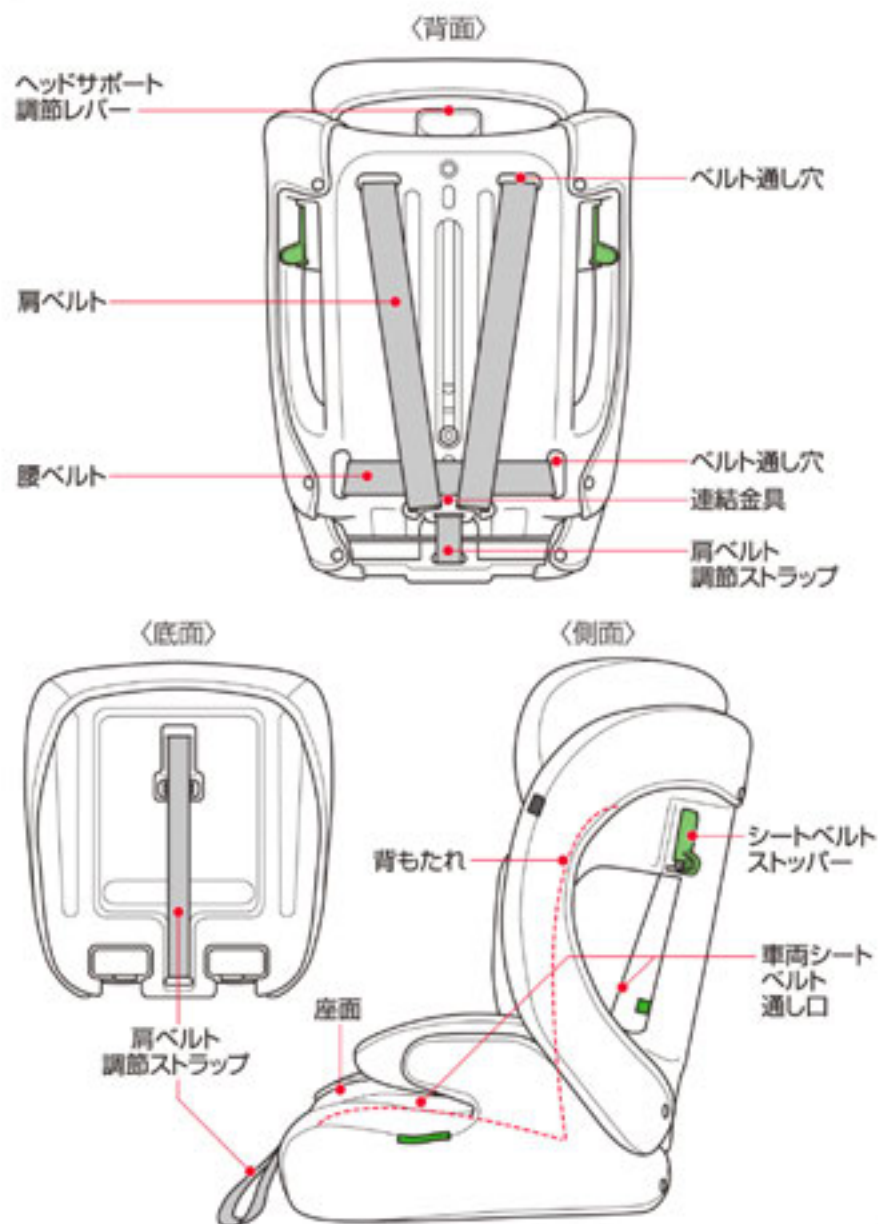
●受け側のバックルベルトの長さが15cm以上ある座席(車両のバックルやタンクが本装置とあたり、しっかり締め付けができません)。



各部の名称

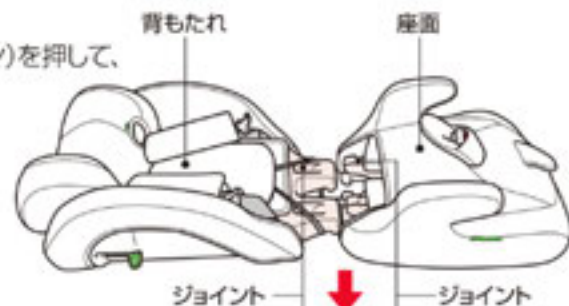


組み立て方



1

バックルボタン(赤いボタン)を押して、
 タングをバックルから
 解除します。(P14参照)
 インナークッションを取り
 外します。



2

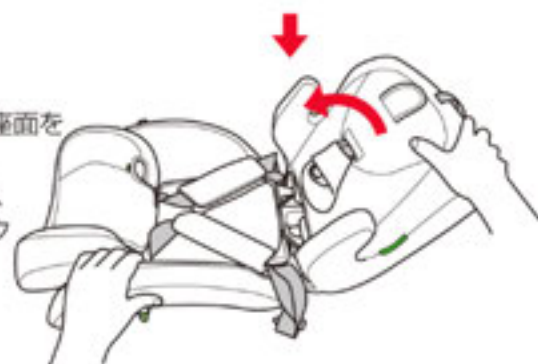
座面のジョイントと背もたれのジョイ
 ントを合わせ押し込みます。



注意 組み立てる前に、ベルトがねじれ
 ていないか、背もたれと座面の
 間にベルト・タングが挟まって
 いないかを確認してください。

3

背もたれを軽く押さえながら、座面を
 ゆっくり引き上げます。
 インナークッションを取り付け、
 左右のタングを合わせ、バック
 ルに差し込みます。(P14参照)



注意 引き上げるときにスムーズに
 上がらない場合は、再度確実に
 差し込んでから引き上げてくだ
 さい。無理に引き上げると破損
 のおそれがあります。

補足

組み立てた背もたれと座面は固
 定されていませんので、持ち運
 ぶ際、背もたれと座面が外れる
 ことがないように、しっかりと支え
 てください。
 また車両の座席に設置する際、
 座面と背もたれの接合部に指を
 挟まないようご注意ください。

各部の使い方

バックル・タング

●ロックを解除する

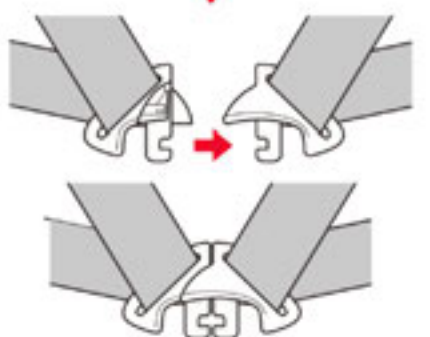
バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を下に押して、タングをバックルから解除します。



●ロックする

左右のタングを合わせます。

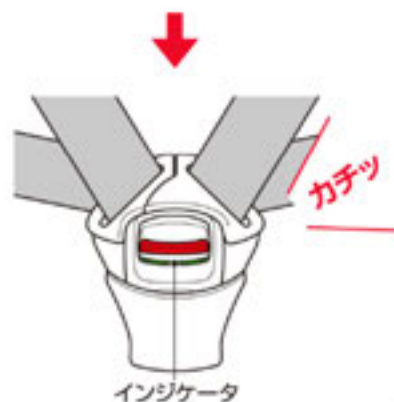
バックルパッドを引き下げ、バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、緑色のインジケータを確認してください。

注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

補足 バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

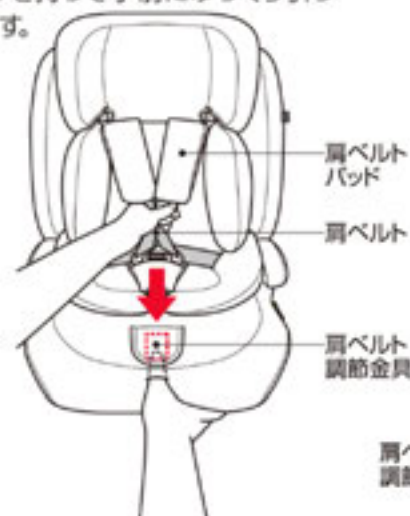


各部の使い方

肩ベルト

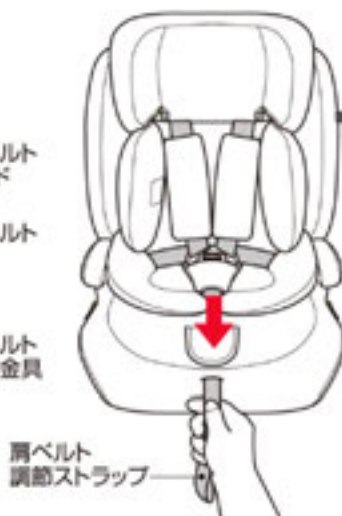
●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具をしっかり押ししながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前にゆっくり引っ張り張ります。



●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張り張ります。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。

インナークッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表：ニット生地(柔らかい肌触りです)
裏：メッシュ生地(通気性に優れています)

●身長が76~87cmまでは、必ずインナークッションを付けてご使用ください。
87cmを超えたら取り外してください。

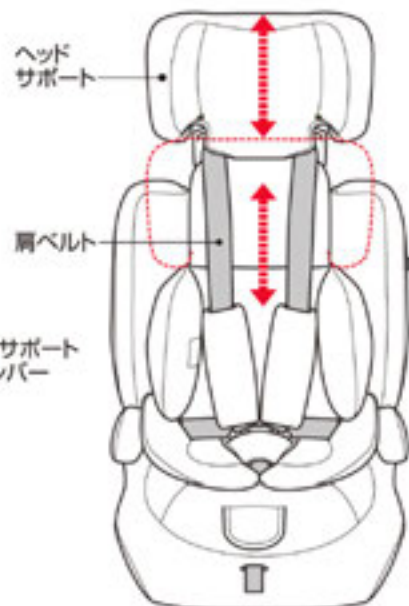
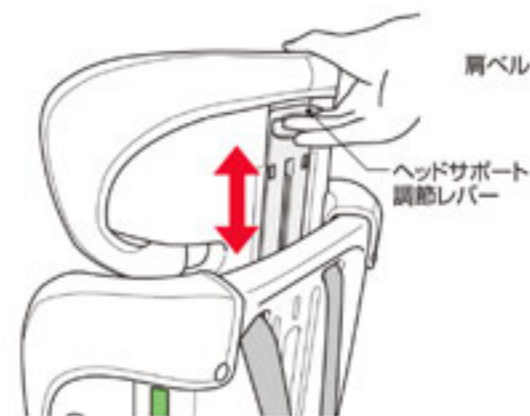


ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

肩ベルトを緩めます。(P15参照)

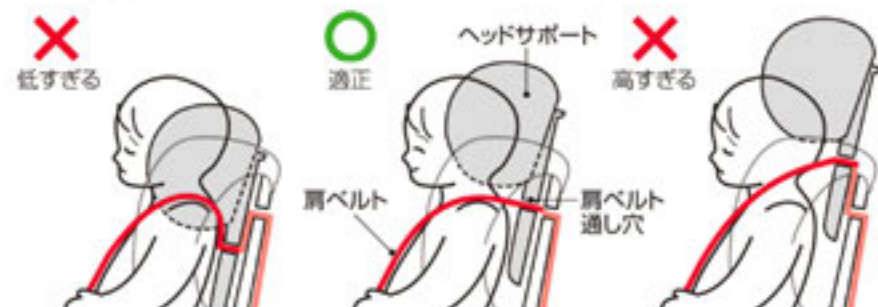
ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。



●高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。

補足 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さを調節してください。



チャイルドシートモードとしての使い方

取り付け方

1

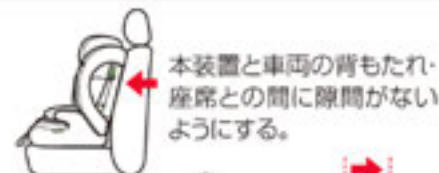
本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

※本装置に車両のヘッドレストが干渉して隙間ができる場合、車両のヘッドレストを上にあげるか取り外してください。

車両のヘッドレストが取り外すことができず、本装置と当たる座席には取り付けできません。

警告 助手席には絶対に取り付けしないでください。



注意 車両の背もたれを、倒した状態で使用しないでください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

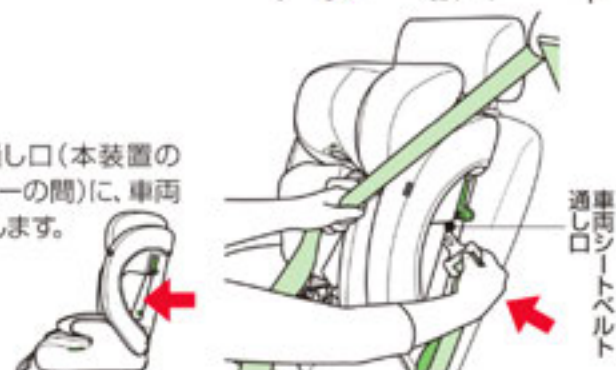
2

車両のシートベルトを引き出してください。



3

車両シートベルト通し口(本装置の背もたれと本体カバーの間)に、車両のシートベルトを通します。

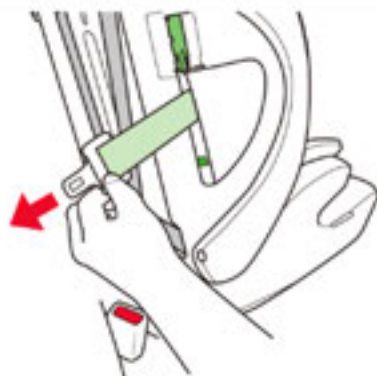


取り付け方

4

車両シートベルト通し口に通した車両のシートベルトを、反対側に引き出し、シートベルトがねじれていないことを確認してから車両のバックルにセットします。

セットする際は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。



警告 バックルとタンクをセットする際は、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

補足 車両のバックルにセットする前に、車両のシートベルトにねじれないことを確認してください。

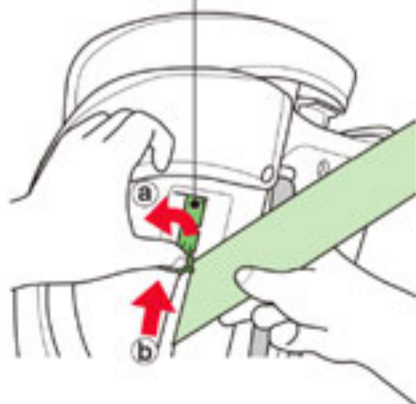


シートベルトストッパー

5

シートベルトストッパーを開き(Ⓐ)、車両の肩ベルトを下から上へ(Ⓑ)スライドさせながら入れ込み、シートベルトストッパーを戻して固定してください。

警告 ドア側のシートベルトストッパーで、肩ベルトを固定してください。

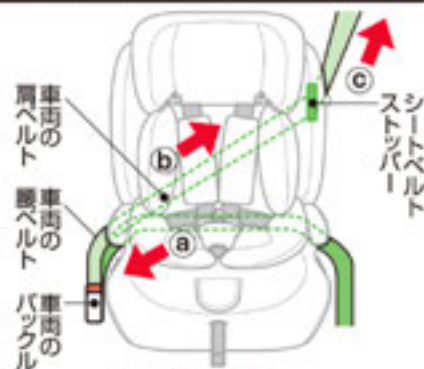
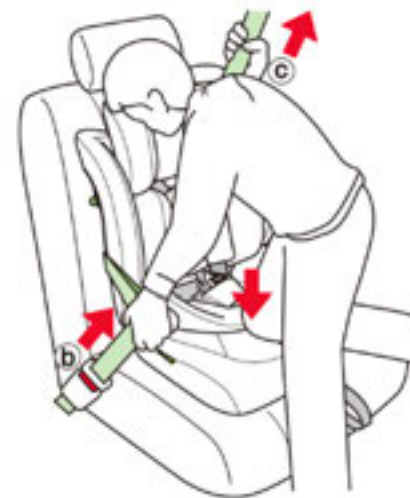


チャイルドシートモードとしての使い方

取り付け方

6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席下側に押し付けながら車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトの緩みをなくします。



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタンクとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実に固定されていること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していること。

警告 左記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮されず危険です。

補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合は、車両の背もたれや座席位置を調節して、再度取り付けてください。本装置を車両の背もたれに押し付け、ぐらつきが少なくなり固定されていることを確認してください。

お子様の乗せ方

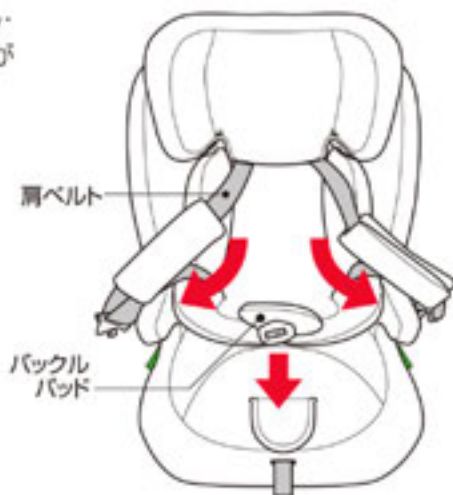
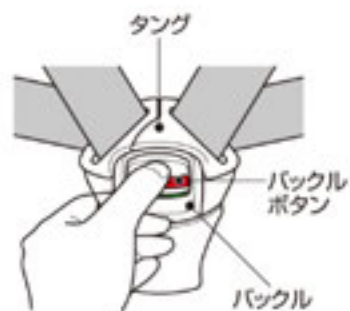
1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って手前にゆっくり引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



注意

左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

お子様の乗せ方

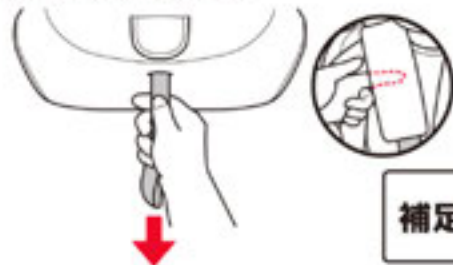
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張り、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告

バックルとタングをセットする際、「カチッ」と音がしたことを、確実に固定されていることを確認してください。

注意

肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。タングの接合部に強い力を加えるとタングが破損するおそれがあります。

補足

肩ベルト調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指1本が入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

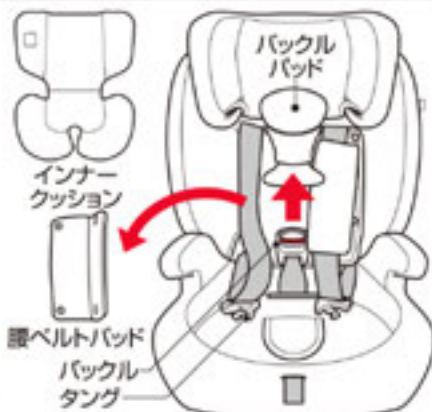
肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。お子様の腕が肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

ジュニアシートモードとしての使い方

ご使用になる前に

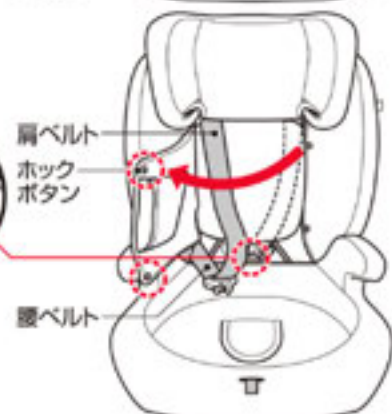
1

肩ベルトを緩め(P15参照)タングをバックルから解除します。バックルパッドとインナークッションを取り外します。肩ベルトパッドのホックを外して、肩ベルトから取り外します。



2

背もたれ(正面2カ所)のホックボタンを外して、肩・腰ベルトを本体カバーとヘッドサポートカバーの内側に入れ、タングは片方ずつ背もたれと座面中央の穴に収納して、ホックボタンを取り付けます。



3

座カバーの前面をめくり、肩ベルト調節ストラップとバックルを座カバーから引き出します。ウレタンとクッション材の下にある収納スペースに、バックルを収納します。ウレタンと座カバーを元に戻します。



注意

バックルとタング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。取り外した部品(肩ベルトパッド/インナークッション/バックル/パッド)は大切に保管してください。

お子様の乗せ方

1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



※本装置に車両のヘッドレストが干渉して隙間ができる場合、車両のヘッドレストを上にあげるか取り外してください。車両のヘッドレストが取り外すことができず、本装置と当たる座席には取り付けできません。



警告

助手席には絶対に取り付けしないでください。

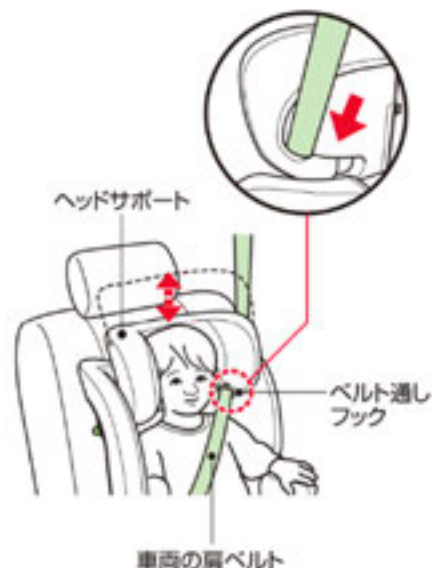


注意

車両の背もたれを、倒した状態で使用しないでください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

2

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートをお子様の頭に合わせます。(P16参照)ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



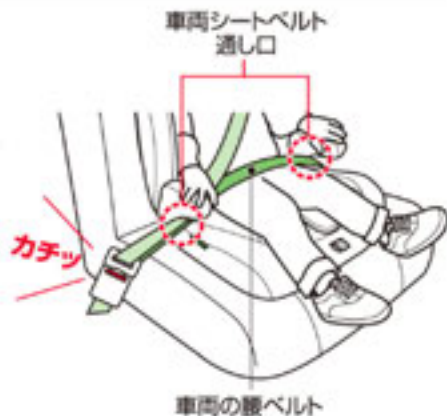
警告

お子様を座らせた際に、頭頂部がヘッドサポートから出ないように、ヘッドサポートの高さを調節してください。

3

車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛け、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。

タングをバックルに差し込んで本装置を固定します。



4

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)車両のシートベルトに緩みがないように装着してください。



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされている。
- 車両のシートベルトに、ねじれがない。
- 車両の肩ベルトが、ベルト通しフックに通してある。
- 左右の車両シートベルト通し口に、車両のシートベルトがしっかりと掛かっている。



注意

お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるように注意してください。



注意

お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

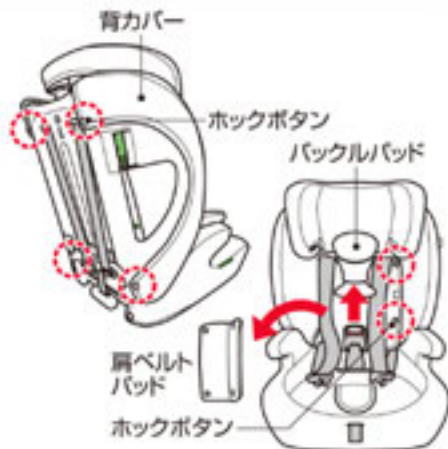
お手入れのしかた

取り外し方

■背カバーを外す

タングをバックルから解除し、肩ベルトパッドのホックを外して、肩ベルトから取り外します。

背カバーは、背もたれ裏側(4カ所)と背もたれ(正面2カ所)のホックボタンを外して取り外します。バックルから、バックルパッドを取り外します。



座面を押さえながら、背もたれをゆっくり倒し、座面と背もたれを外します。

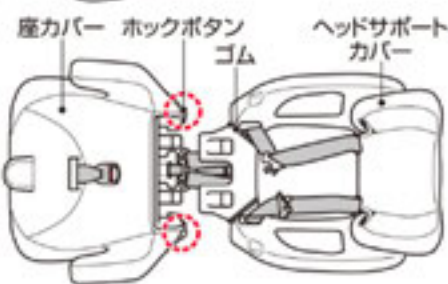


■座カバーを外す

座カバーは、座面後ろ側の左右のホックボタンを外して取り外します。

■ヘッドサポートカバーを外す

背もたれ下部に掛かっているゴムを外して、ヘッドサポートカバーを取り外します。



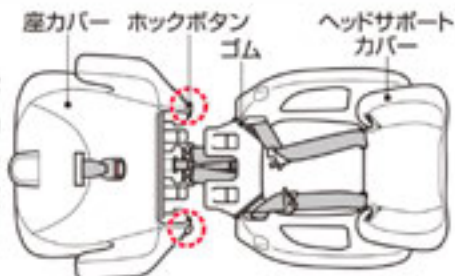
注意

バックルとタング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

取り付け方

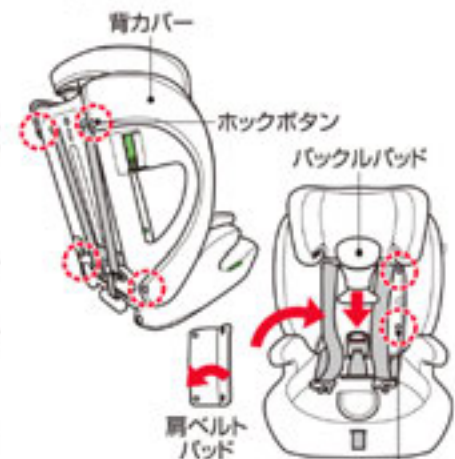
■ヘッドサポートカバー・座カバーを取り付ける

背もたれ下部にゴムを掛けて、ヘッドサポートカバーを取り付けます。座カバーを取り付け、バックルを座カバーの表側に引き出し、座面後ろ側の左右のホックボタンを付けて固定します。



■背カバーを取り付ける

背カバーは、背もたれ裏側(4カ所)と背もたれ(正面2カ所)のホックボタンを付けて取り付けます。



肩ベルトパッドを肩ベルトに取り付けます。

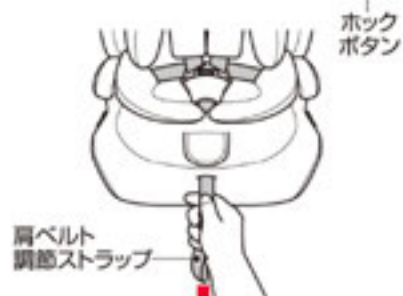
※ホックボタンが外側になるように取り付けてください。

バックルパッドを取り付けます。

※バックルパッドの下部は、座カバーの中に押し込んでください。

●座面と背もたれを組み立てます。(P13参照)

左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張り肩ベルトを締めます。

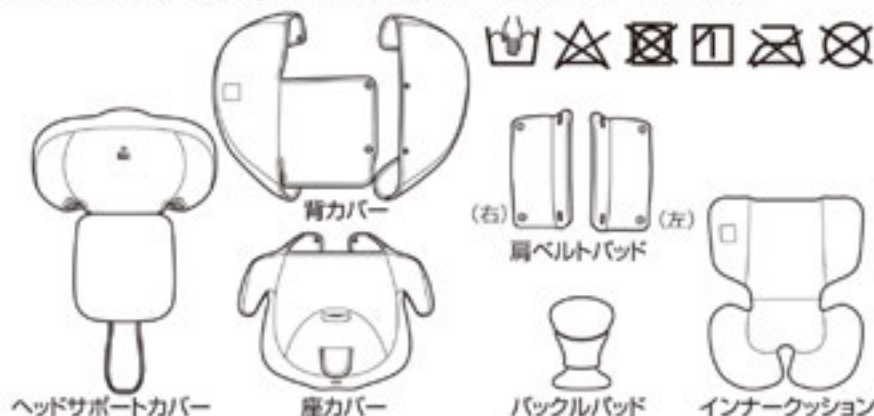
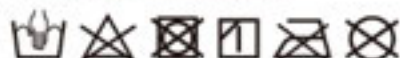


ベルトにねじれがないように注意して、タングをバックルにセットしてください。

お手入れのしかた

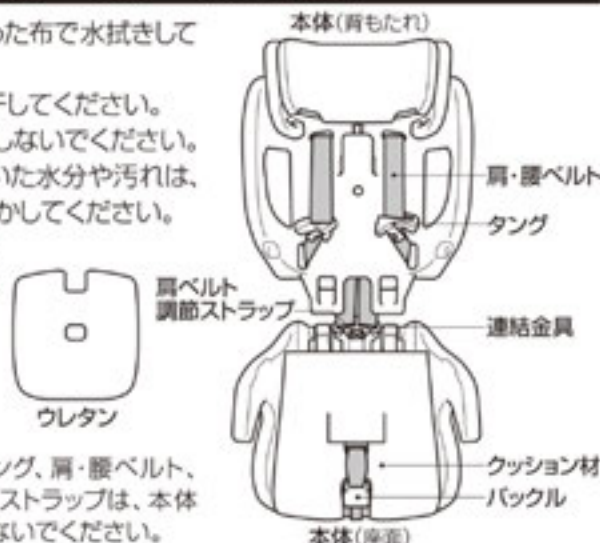
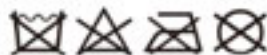
カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い手洗いしてください。
- 洗濯機(手洗いモード)で洗う場合は、必ず洗濯ネットを使用してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- 脱水機・衣類乾燥機、アイロンは使用しないでください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



バックルとタング、肩・腰ベルト、肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。

困ったときは

ご不明な点は、「お客様相談窓口(0120-034-017)」までお問い合わせください。

チャイルドシートを取り付けたが、安定せずグラグラする。

- 座面を前後に軽く揺すり、本装置の座面と車両のシートから3cm以上ズレないかを確認してください。
- 車両の座席がリクライニングできる場合は、背もたれを前に起こすことで、しっかり固定できる場合があります。また、座席がスライドできる場合は、前側にスライドさせることで、しっかり固定できる場合があります。

肩ベルトが緩まない。締まらない。

- 組み立てたときに肩ベルト調節ストラップがねじれているかもしれません。本装置を車両から取り外して、ねじれがないか確認後、再度組み立ててください。
※ねじれがある場合は、ねじれを直してから組み立ててください。

ヘッドサポートが上がらない。

- 肩ベルトを十分緩めてから高さの調節をしてください。

シートベルトで取り付けたが、緩みやたるみがとれない。

- 本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間を少なくし、腰ベルト、肩ベルトの順に巻き戻して緩みやたるみを取ってください。

バックルにタンクが入らない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタンクが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- バックルの差し込み口に潤滑スプレーを吹き付け、バックルにタンクを数回抜き差ししてください。

肩ベルトがねじれて、タンクが逆向きになった。

- 肩ベルトを斜めに折って、折った端の方からタンクを通してください。

運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がいいか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認しただけたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできることでより安全です。

廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

MEMO

保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
 - ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
 - ③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - ご使用にともなう傷やぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
 - 有償修理時に要する発送料。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
 - 部品の紛失。
 - 保証書およびレシート、または販売証明書のご提示がない場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
 - ④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
 - ⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
 - ⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
 - ⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
 - ⑧ご贈答、ご移動で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
 - ⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
 - ⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がございましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- ※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねる場合があります。
- ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
- ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちに記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	SA イーゼスジュニア ネクスト	お買い上げ年月日	年 月 日	故障内容記入欄
お客様	お名前 ご住所	保証期間	お買い上げ日より1年間	
販売店	店名 住所	TEL		

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報等は、保証書に基づきアフターサービスののために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。



イーゼスジュニア ネクスト Aegis Junior Next



販売元

株式会社 **西松屋チェーン**

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造・輸入元 株式会社シーエー産商

お客様相談窓口

0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日・祭日休) ※弊社休日を除く
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51